



PATENT APPLICATION

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of

Akimasa OHTA, et al.

Appln. No.: 10/050,949

Group Art Unit: Unknown

Confirmation No.: Unknown

Examiner: Unknown

Filed: January 22, 2002

For: UNMANNED RETAIL SHOP SYSTEM AND METHOD OF PURCHASING GOODS

SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENT

RECEIVED

Commissioner for Patents  
Washington, D.C. 20231

FEB 26 2002

Technology Center 2100

Sir:

Submitted herewith is a certified copy of the priority document on which a claim to priority was made under 35 U.S.C. § 119. The Examiner is respectfully requested to acknowledge receipt of said priority document.

Respectfully submitted,

J. Frank Osha  
Registration No. 24,625

SUGHRUE MION, PLLC  
2100 Pennsylvania Avenue, N.W.  
Washington, D.C. 20037-3213  
Telephone: (202) 293-7060  
Facsimile: (202) 293-7860

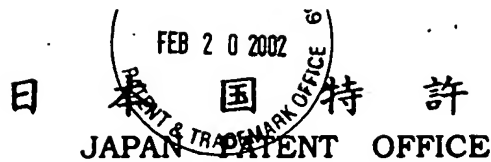
Enclosures: Japan 2001-012069

Date: February 20, 2002

2167

#2

2100  
0410



10/050,949  
Filed 1/22/02  
068182  
10f1

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日

Date of Application:

2001年 1月19日

出願番号

Application Number:

特願2001-012069

出願人

Applicant(s):

日本電気株式会社

RECEIVED

FEB 26 2002

Technology Center 2100

CERTIFIED COPY OF  
PRIORITY DOCUMENT

2001年11月16日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及川耕造

出証番号 出証特2001-3099844

【書類名】 特許願

【整理番号】 66000082

【提出日】 平成13年 1月19日

【あて先】 特許庁長官 及川 耕造 殿

【国際特許分類】 G06F 17/60

【発明の名称】 無人小売店システム及び商品購入方法

【請求項の数】 7

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区芝5丁目7番1号  
日本電気株式会社内

【氏名】 太田 暁方

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区芝5丁目7番1号  
日本電気株式会社内

【氏名】 坂本 久治

【特許出願人】

【識別番号】 000004237

【氏名又は名称】 日本電気株式会社

【代理人】

【識別番号】 100095740

【弁理士】

【氏名又は名称】 開口 宗昭

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 025782

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

特 2 0 0 1 - 0 1 2 0 6 . 9

【包括委任状番号】 9606620

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 無人小売店システム及び商品購入方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 利用者側に設けられた利用者側情報端末と、小売店側に設けられた小売店側情報端末と、決済機関側に設けられた決済機関側情報端末とがネットワークを介して接続されてなる無人小売店システムであって、

前記利用者側情報端末が、購入する商品を選択し該選択した商品の情報を前記小売店側情報端末に送信する手段、及び購入した商品の購入代金を支払うための決済口座情報を前記小売店側情報端末に送信する手段を有し、

前記小売店側情報端末が、商品格納庫を有しており、前記利用者側情報端末から送信される商品の情報、及び決済口座情報を受信する手段、及び商品の購入代金の引き落とし依頼情報及び小売店の有する口座への購入代金の振込依頼情報を前記決済機関側情報端末に送信する手段を有し、

前記決済機関側情報端末が、前記小売店側情報端末から送信された購入代金の引き落とし依頼情報及び振込依頼情報を受信する手段、購入商品が格納された商品格納庫の鍵を解錠するための暗証番号を作成する手段、及び該暗証番号を前記利用者側端末及び前記小売店側情報端末に送信する手段を有することを特徴とする、無人小売店システム。

【請求項 2】 前記決済機関側情報端末が、前記利用者側情報端末から送信された口座から商品購入代金を引き落とし、前記小売店の有する口座へ商品購入代金を振り込む手段を有する、請求項 1 に記載の無人小売店システム。

【請求項 3】 仕入れメーカー側に設けられた仕入れメーカー側情報端末がネットワークを介して接続され、該仕入れメーカー側情報端末が、仕入れ商品情報を前記小売店側情報端末に送信する手段を有する、請求項 1 又は 2 に記載の無人小売店システム。

【請求項 4】 ネットワークを介して、利用者側に設けられた利用者側情報端末と、商品格納庫を有する小売店側に設けられた小売店側情報端末と、決済機関側に設けられた決済機関側情報端末の間で行われる商品購入方法であって、

前記利用者が利用者側情報端末を操作して、小売店側情報端末にアクセスし、

購入する商品を選択し該選択した商品の情報、及び購入した商品の購入代金を支払うための決済口座情報を前記小売店側情報端末に送信するステップ、

前記利用者側端末から送信された商品の情報、及び決済口座情報を受信した小売店側情報端末が、商品の購入代金の引き落とし依頼情報及び小売店の有する口座への購入代金の振込依頼情報を前記決済機関側情報端末に送信するステップ、

前記決済機関側情報端末が、前記利用者側情報端末から送信された口座から商品購入代金を引き落とし、前記小売店の有する口座へ商品購入代金を振り込むステップ、

前記決済機関側情報端末が、購入商品が格納された商品格納庫の鍵を解錠するための暗証番号を作成し、該暗証番号を前記利用者側情報端末及び前記小売店側情報端末に送信するステップ、及び

商品代金が小売店の有する口座へ振り込まれることを契機として小売店が自己の有する商品格納庫に利用者が購入した商品を格納するステップを有することを特徴とする商品購入方法。

【請求項5】 仕入れメーカー側に設けられた仕入れメーカー側情報端末がネットワークを介して接続され、該仕入れメーカー側情報端末が仕入れ商品情報を前記小売店側情報端末に送信するステップを有する、請求項4に記載の商品購入方法。

【請求項6】 利用者が利用者側端末を操作して、小売店側情報端末にアクセスし、購入する商品を選択し該選択した商品の情報、及び購入した商品の購入代金を支払うための決済口座情報を前記小売店側情報端末に送信するステップ、前記利用者側端末から送信された商品の情報、及び決済口座情報を受信した小売店側情報端末が、商品の購入代金の引き落とし依頼情報及び小売店の有する口座への購入代金の振込依頼を決済機関側情報端末に送信するステップ、前記決済機関側情報端末が、前記利用者側情報端末から送信された決済口座から商品購入代金を引き落とし、前記小売店の有する口座へ商品購入代金を振り込むステップ、前記決済機関側情報端末が、購入商品が格納された商品格納庫の鍵を解錠するための暗証番号を作成し、該暗証番号を前記利用者側情報端末及び前記小売店側情報端末に送信するステップ、及び商品代金が小売店の有する口座へ振り込まれることを契機として小売店が自己の有する商品格納庫に利用者が購入した商品を格納す

るステップを有することを特徴とする商品購入方法をコンピュータに実行させるプログラム。

【請求項 7】 仕入れメーカー側に設けられた仕入れメーカー側情報端末がネットワークを介して接続され、該仕入れメーカー側情報端末が仕入れ商品情報を前記小売店側情報端末に送信するステップを有する、請求項 6 に記載の商品購入方法をコンピュータに実行させるプログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、商品を購入する購入者が、購入した商品を無人倉庫において受け取ることでできる無人小売店システムに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来の小売店のシステムは、製造業者が製造した商品を小売店に納入するまでの間、複数の業者が介入することが必要であり、介入する業者の数が多くなればなるほど、中間マージンが発生し、購入者への提供価格が高くなっていた。

【0003】

上記問題を解決する手段として、店舗を無人化したシステムが提案されており、例えば特許第2503192号公報には無人店舗装置が、特公平7-11806号公報には注文品の受け渡しを行なう施錠および解錠制御可能なロッカーを備えた装置を有する電子注文配達受け取りシステムが開示されている。また、特開平10-162065号公報には、宅配ボックスを備えた取次店を有する配送管理システムが開示されている。

【0004】

しかしながら、24時間営業が困難なことから店舗の無人化は困難である。また、24時間営業を行っているコンビニエンスストア等で商品を受け取るシステムも提案されているが、このようなコンビニエンスストア等で商品を受け取る場合には、取り扱いが可能な商品が限定されてしまう。

【0005】

上述したようなシステムにおいて、商品を購入した購入者は、コンビニエンスストアにおいて受け取るか、又は宅配便を利用して商品を受け取っていたが、他人に見られたくない商品を購入するような場合に、コンビニエンスストアで受け取るか宅配便で受け取る方法では、他人に商品を見られないようにすることはできなかった。また、宅配便で受け取る方法では、購入者自身が在宅していない時には購入した商品を受け取ることができなかった。

【 0 0 0 6 】

また、上述したシステムにおいては、問屋はコンビニエンスストア等に商品を納品するため、商品を迅速に配達することが困難であり中間マージンもかかってしまい、購入者の負担が大きくなってしまう。従って、購入者が購入しようとする商品を、無人倉庫において受け取ることができるような小売店システムが望まれている。

【 0 0 0 7 】

【発明が解決しようとする課題】

従って、本発明は、商品を購入する購入者が、購入した商品を無人倉庫において受け取ることでできる無人小売店システムを提供することにある。

【 0 0 0 8 】

【課題を解決するための手段】

前記課題を解決する本出願の第 1 の発明は、利用者側に設けられた利用者側情報端末と、小売店側に設けられた小売店側情報端末と、決済機関側に設けられた決済機関側情報端末とがネットワークを介して接続されてなる無人小売店システムであって、前記利用者側情報端末が、購入する商品を選択し該選択した商品の情報を前記小売店側情報端末に送信する手段、及び購入した商品の購入代金を支払うための決済口座情報を前記小売店側情報端末に送信する手段を有し、前記小売店側情報端末が、商品格納庫を有しており、前記利用者側情報端末から送信される商品の情報、及び決済口座情報を受信する手段、及び商品の購入代金の引き落とし依頼情報及び小売店の有する口座への購入代金の振込依頼情報を前記決済機関側情報端末に送信する手段を有し、前記決済機関側情報端末が、前記小売店側情報端末から送信された購入代金の引き落とし依頼情報及び振込依頼情報を受



信する手段、購入商品が格納された商品格納庫の鍵を解錠するための暗証番号を作成する手段、及び該暗証番号を前記利用者側端末及び前記小売店側情報端末に送信する手段を有することを特徴とする、無人小売店システムである。

【0009】

かかる構成とすることにより、本発明の無人小売店システムは、商品を購入する利用者が、購入した商品を無人の商品格納庫において受け取ることができるシステムとなる。また、本発明の無人小売店システムにおいては、利用者は自己の都合にあわせて購入した商品を受け取りに行くことができ、運送業者が利用者宅に配送する必要がないので、利用者が留守の場合に再送するという煩雑さを防ぐことができる。

【0010】

また、利用者は購入した商品を無人の商品格納庫で受け取るので、他人に見られたくない商品を購入する場合に他人に購入した商品を見られることを回避できる。

また、本発明の無人小売店システムにおいては、小売店の有する無人商品格納庫に商品が直接納品されるため、中間業者を削減することが可能となり、スピーディーな納品が可能となり、また人件費等の経費を低減できるので、中間マージンの削減が可能となる。

【0011】

また、本出願の請求項2に記載の発明は、請求項1に記載の無人小売店システムにおいて、前記決済機関側情報端末が、前記利用者側情報端末から送信された口座から商品購入代金を引き落とし、前記小売店の有する口座へ商品購入代金を振り込む手段を有することを特徴とする。

かかる構成とすることにより、商品購入代金は商品を購入する利用者の決済口座から自動的に引き落とされ、小売店の有する口座に振り込まれるので、自動決済が可能となる。

【0012】

また、本出願の請求項3に記載の発明は、請求項1又は2に記載の無人小売店システムにおいて、仕入れメーカー側に設けられた仕入れメーカー側情報端末がネッ

トワークを介して接続され、該仕入れメーカ側情報端末が、仕入れ商品情報を前記小売店側情報端末に送信する手段を有することを特徴とする。

かかる構成とすることにより、小売店側情報端末に仕入れ商品情報が送信されるので、利用者は小売店が開設するホームページにアクセスすることにより、購入可能な商品を知ることができる。

【 0 0 1 3 】

また、本出願の請求項 4 に記載の発明は、ネットワークを介して、利用者側に設けられた利用者側情報端末と、商品格納庫を有する小売店側に設けられた小売店側情報端末と、決済機関側に設けられた決済機関側情報端末の間で行われる商品購入方法であって、前記利用者が利用者側情報端末を操作して、小売店側情報端末にアクセスし、購入する商品を選択し該選択した商品の情報、及び購入した商品の購入代金を支払うための決済口座情報を前記小売店側情報端末に送信するステップ、前記利用者側端末から送信された商品の情報、及び決済口座情報を受信した小売店側情報端末が、商品の購入代金の引き落とし依頼情報及び小売店の有する口座への購入代金の振込依頼情報を前記決済機関側情報端末に送信するステップ、前記決済機関側情報端末が、前記利用者側情報端末から送信された口座から商品購入代金を引き落とし、前記小売店の有する口座へ商品購入代金を振り込むステップ、前記決済機関側情報端末が、購入商品が格納された商品格納庫の鍵を解錠するための暗証番号を作成し、該暗証番号を前記利用者側情報端末及び前記小売店側情報端末に送信するステップ、及び商品代金が小売店の有する口座へ振り込まれることを契機として小売店が自己の有する商品格納庫に利用者が購入した商品を格納するステップを有することを特徴とする商品購入方法である。

【 0 0 1 4 】

かかる構成とすることにより、本発明の商品購入方法は、商品を購入する利用者が、購入した商品を無人の商品格納庫において受け取ることができる商品購入方法となる。また、本発明の商品購入方法においては、利用者は自己の都合にあわせて購入した商品を受け取りに行くことができ、運送業者が利用者宅に配送する必要がないので、利用者が留守の場合に再送するという煩雑さを回避できる。

【 0 0 1 5 】

また、利用者は購入した商品を無人の商品格納庫で受け取るので、他人に見られたくない商品を購入する場合に他人に購入した商品を見られることを回避できる。

また、本発明の商品購入方法においては、小売店の有する無人商品格納庫に商品が直接納品されるため、中間業者を削減することが可能となり、スピーディーな納品が可能となり、また人件費等の経費を低減できるので、中間マージンの削減が可能となる。

【 0 0 1 6 】

また、本願の請求項 5 に記載の発明は、請求項 4 に記載の商品購入方法において、仕入れメーカー側に設けられた仕入れメーカー側情報端末がネットワークを介して接続され、該仕入れメーカー側情報端末が仕入れ商品情報を前記小売店側情報端末に送信するステップを有することを特徴とする。

かかる構成とすることにより、小売店側情報端末に仕入れ商品情報が送信されるので、利用者は小売店が開設するホームページにアクセスすることにより、購入可能な商品を知ることができる。

【 0 0 1 7 】

また、本出願の請求項 6 に記載の発明は、利用者が利用者側端末を操作して、小売店側情報端末にアクセスし、購入する商品を選択し該選択した商品の情報、及び購入した商品の購入代金を支払うための決済口座情報を前記小売店側情報端末に送信するステップ、前記利用者側端末から送信された商品の情報、及び決済口座情報を受信した小売店側情報端末が、商品の購入代金の引き落とし依頼情報及び小売店の有する口座への購入代金の振込依頼を決済機関側情報端末に送信するステップ、前記決済機関側情報端末が、前記利用者側情報端末から送信された決済口座から商品購入代金を引き落とし、前記小売店の有する口座へ商品購入代金を振り込むステップ、前記決済機関側情報端末が、購入商品が格納された商品格納庫の鍵を解錠するための暗証番号を作成し、該暗証番号を前記利用者側情報端末及び前記小売店側情報端末に送信するステップ、及び商品代金が小売店の有する口座へ振り込まれることを契機として小売店が自己の有する商品格納庫に利用者が購入した商品を格納するステップを有することを特徴とする商品購入方法

をコンピュータに実行させるプログラムである。

【0018】

かかる構成とすることにより、商品を購入する利用者が、購入した商品を無人の商品格納庫において受け取ることができる商品購入方法を実施することが可能となる。また、本発明の商品購入方法をコンピュータに実行させるプログラムにより実行される商品購入方法によれば、利用者は自己の都合にあわせて購入した商品を受け取りに行くことができ、運送業者が利用者宅に配送する必要がないので、利用者が留守の場合に再送するという煩雑さを回避できる。

【0019】

また、本発明の商品購入方法をコンピュータに実行させるプログラムにより実行される商品購入方法によれば、利用者は購入した商品を無人の商品格納庫で受け取るので、他人に見られたくない商品を購入する場合に他人に購入した商品を見られることを回避できる。また、上記商品購入方法によれば、小売店の有する無人商品格納庫に商品が直接納品されるため、中間業者を削減することが可能となり、スピーディーな納品が可能となり、また人件費等の経費を低減できるので、中間マージンの削減が可能となる。

【0020】

また、本出願の請求項7に記載の発明は、請求項6に記載の商品購入方法をコンピュータに実行させるプログラムにおいて、仕入れメーカー側に設けられた仕入れメーカー側情報端末がネットワークを介して接続され、該仕入れメーカー側情報端末が仕入れ商品情報を前記小売店側情報端末に送信するステップを有することを特徴とする。

かかる構成とすることにより、本発明の商品購入方法をコンピュータに実行させるプログラムにより実行される商品購入方法によれば、小売店側情報端末に仕入れ商品情報が送信されるので、利用者は小売店が開設するホームページにアクセスすることにより、購入可能な商品を知ることができる。

【0021】

【発明の実施の形態】

以下に、先ず本発明の無人小売店システムの一実施の形態について図面を参照

して説明する。

図 1 は、本発明の無人小売店システムの一実施の形態の構成を示す図である。

本実施の形態の無人小売店システムは、利用者側に設けられた利用者側端末 10 と、小売店側に設けられた小売店側情報端末 20 と、決済機関側に設けられた決済機関側情報端末 30 と、仕入れメーカー側に設けられた仕入れメーカー側情報端末 40 とが、ネットワーク 100 を介して接続されてなる。

#### 【0022】

ここで、ネットワーク 100 は、例えばインターネット等を用いたネットワーク 100 であることが好ましい。

また、上記ネットワーク 100 は、前記利用者側端末 10 と前記小売店側情報端末 20 と前記決済機関側情報端末 30 と前記仕入れメーカー側情報端末 40 との間で有線、無線を問わず、情報が伝送されるものであればよい。

#### 【0023】

また、前記利用者側情報端末 10 は、商品を購入する利用者が利用する情報端末であって、前記ネットワーク 100 を介してホームページへのアクセスを可能とする WWW(World Wide Web) ブラウザ等へのアクセス手段を有している。具体的には、利用者側情報端末 10 は、インターネット等のネットワーク 100 に接続可能なパーソナルコンピュータ、携帯電話又はモバイルコンピュータ等の情報端末である。

#### 【0024】

前記利用者側情報端末 10 は、利用者が購入する商品を選択し該選択した商品の情報を前記小売店側情報端末 20 に送信する手段を有している。購入する商品の選択は、前記利用者側端末 10 を利用して小売店が開設するホームページにアクセスし、該ホームページに掲載された商品をマウス等でクリックすることにより実施することができる。

#### 【0025】

また、前記利用者側情報端末 10 は、購入した商品の購入代金を支払うための決済口座情報を前記小売店側情報端末 20 に送信する手段を有している。決済口座情報の送信は、前記利用者側情報端末 10 に備えられたキーボードを操作する

ことにより入力し送信するようになっている。

【0026】

前記小売店側情報端末20は、商品を販売する小売店側に設けられた情報端末であって、前記ネットワーク100を介してホームページへのアクセスを可能とするWWW(World Wide Web)ブラウザ等へのアクセス手段を有している。具体的には、利用者側情報端末10は、インターネット等のネットワーク100に接続可能なパーソナルコンピュータ、携帯電話又はモバイルコンピュータ等の情報端末である。また、前記小売店側情報端末20は、ワークステーション・サーバ等の情報処理装置によって構成されていてもよい。

【0027】

前記小売店側情報端末20は、無人倉庫である商品格納庫を有している。該商品格納庫は、利用者が購入した商品が格納される場所であり、鍵が備えられている。また、前記商品格納庫に備えられた鍵は、後述する暗証番号を入力することにより解錠されるようになされている。

【0028】

また、前記小売店側情報端末20は、前記利用者側情報端末から送信される商品の情報、及び決済口座情報を受信する手段を有している。

また、前記小売店側情報端末20は、商品の購入代金の引き落とし依頼情報及び小売店の有する口座への購入代金の振込依頼情報を前記決済機関側情報端末30に送信する手段を有している。前記小売店側情報端末20が、このような手段を有していることにより、自動決済が可能となり、利用者及び小売店にとっての利便性が向上する。

【0029】

前記決済機関側情報端末30は、決済機関側に設けられた情報端末であって、前記ネットワーク100を介してホームページへのアクセスを可能とするWWW(World Wide Web)ブラウザ等へのアクセス手段を有している。具体的には、決済機関側情報端末30は、インターネット等のネットワーク100に接続可能なパーソナルコンピュータ、携帯電話又はモバイルコンピュータ等の情報端末である。また、前記決済機関側情報端末30は、ワークステーション・サーバ等の情報

処理装置によって構成されていてもよい。

【0030】

また、前記決済機関側情報端末30は、前記小売店側情報端末20から送信された購入代金の引き落とし依頼情報及び振込依頼情報を受信する手段、購入商品が格納された商品格納庫の鍵を解錠するための暗証番号を作成する手段、及び該暗証番号を前記利用者側情報端末10及び前記小売店側情報端末20に送信する手段を有している。

【0031】

前記決済機関側情報端末30が、購入商品が格納された商品格納庫の鍵を解錠するための暗証番号を作成し、該暗証番号が前記利用者側情報端末10及び前記小売店側情報端末20に送信されるので、商品を購入した利用者は、受信した暗証番号を入力して無人倉庫である商品格納庫から自己の購入した商品を取り出すことができ、宅配業者が利用者宅に商品を運送することもないので、利用者は自己の購入した商品を他人に見られることが回避される。

【0032】

なお、前記小売店側情報端末は、利用者が購入した商品を取り出す際に入力した暗証番号が、前記決済機関側情報端末30から送信されたものと同一であるか否かを判断し、同一でない場合には解錠しないようにする手段を有している。従って、暗証番号を知らない他人は商品格納庫から商品を取り出すことができないので、他人に購入した商品を取り出されることを防止できる。

【0033】

また、前記決済機関側情報端末30は、前記利用者側情報端末10から送信された口座から商品購入代金を引き落とし、小売店の有する口座へ商品購入代金を振り込む手段を有している。前記決済機関側情報端末30が、このような手段を有していることにより自動決済が可能となる。

【0034】

また、図1に示される無人小売店システムにおいては、仕入れメーカー側に設けられた仕入れメーカー側情報端末40がネットワーク100を介して接続されている。

前記仕入れメーカ側は、仕入れメーカ側に設けられた情報端末であって、前記ネットワーク 1 0 0 を介してホームページへのアクセスを可能とする WWW (World Wide Web) ブラウザ等へのアクセス手段を有している。具体的には、仕入れメーカ側情報端末 4 0 は、インターネット等のネットワーク 1 0 0 に接続可能なパーソナルコンピュータ、携帯電話又はモバイルコンピュータ等の情報端末である。また、前記決済機関側情報端末 3 0 は、ワークステーション・サーバ等の情報処理装置によって構成されていてもよい。

【 0 0 3 5 】

また、前記仕入れメーカ側情報端末は、仕入れ商品情報を前記小売店側情報端末に送信する手段を有している。

前記仕入れメーカ側情報端末が、上記手段を有していることにより、小売店側情報端末に商品情報が送信されるので、利用者は小売店が開設するホームページにアクセスすることにより、購入可能な商品を知ることが可能となる。そして、商品を購入しようとする利用者は、前記利用者側端末 1 0 を用いて小売店が開設するホームページにアクセスし、該ホームページに掲載された商品をマウス等でクリックすることにより購入商品を選択することができる。

【 0 0 3 6 】

次に、本発明の商品購入方法について図面を参照して説明する。本発明の商品購入方法は、本発明の無人小売店システムを用いて実施することができる。

本発明の商品購入方法は、ネットワークを介して、利用者側に設けられた利用者側情報端末と、商品格納庫を有する小売店側に設けられた小売店側情報端末と、決済機関側に設けられた決済機関側情報端末の間で行われる商品購入方法であって、前記利用者が利用者側情報端末を操作して、小売店側情報端末にアクセスし、購入する商品を選択し該選択した商品の情報、及び購入した商品の購入代金を支払うための決済口座情報を前記小売店側情報端末に送信するステップ、前記利用者側端末から送信された商品の情報、及び決済口座情報を受信した小売店側情報端末が、商品の購入代金の引き落とし依頼情報及び小売店の有する口座への購入代金の振込依頼情報を前記決済機関側情報端末に送信するステップ、前記決済機関側情報端末が、前記利用者側情報端末から送信された口座から商品購入代



金を引き落とし、前記小売店の有する口座へ商品購入代金を振り込むステップ、前記決済機関側情報端末が、購入商品が格納された商品格納庫の鍵を解錠するための暗証番号を作成し、該暗証番号を前記利用者側情報端末及び前記小売店側情報端末に送信するステップ、及び商品代金が小売店の有する口座へ振り込まれることを契機として小売店が自己の有する商品格納庫に利用者が購入した商品を格納するステップを有することを特徴とする。

## 【 0 0 3 7 】

図 2 は、本発明の商品購入方法の一実施の形態のステップを示す図である。

まず、小売店が小売店側情報端末 2 0 を操作し、仕入れメーカ側情報端末 4 0 にアクセスする（ステップ A 1）。小売店側情報端末 2 0 が仕入れメーカ側情報端末 4 0 にアクセスすることを契機として仕入れメーカ側情報端末 4 0 は仕入れ商品情報を小売店側情報端末 2 0 に送信し、小売店側情報端末 2 0 は仕入れ商品情報を受信する（ステップ A 2）。次いで、小売店側情報端末 2 0 により仕入れ商品情報を受信すると、小売店は自己の有するホームページ情報を更新する。

## 【 0 0 3 8 】

一方、仕入れメーカは小売店の有する無人倉庫である商品格納庫に商品を納入する（ステップ A 3）。なお、商品の納入は、利用者が商品の購入の予約をした後でもよく、また、商品代金が小売店の有する口座に振り込まれた後であってよい。

## 【 0 0 3 9 】

利用者は、利用者側情報端末 1 0 を操作し、小売店側情報端末 2 0 にアクセスし（ステップ A 4）、小売店が開設するホームページを閲覧する（ステップ A 5）。利用者は小売店が開設するホームページの商品一覧を閲覧し、その中から購入する商品を選択する。この選択は、例えばマウス等により希望商品をクリックすることによってもできるし、また希望商品の商品名又はコード番号等をキーボードに入力することによっても実施できる。

## 【 0 0 4 0 】

次いで、購入商品の選択が終了した後、該購入商品の情報、及び購入した商品の購入代金を支払うための決済口座情報を小売店側情報端末 2 0 に送信する（ス

テップ A 6)。小売店側情報端末 2 0 により購入商品の情報、及び購入した商品の購入代金を支払うための決済口座情報を受信した小売店は、商品の購入代金の引き落とし及び小売店の口座への購入代金の振込依頼情報を決済機関側情報端末 3 0 に送信する（ステップ A 7）。

【0 0 4 1】

図 2 には示していないが、前記決済機関側情報端末 3 0 は前記利用者側情報端末 1 0 から送信された口座から商品購入代金を引き落とし、前記小売店の有する口座へ商品購入代金を振り込む。次いで、前記決済機関側情報端末 3 0 は、購入商品が格納された商品格納庫の鍵を解錠するための暗証番号を作成し、該暗証番号を前記利用者側情報端末 1 0 及び前記小売店側情報端末 2 0 に送信する（ステップ A 8）。

【0 0 4 2】

また、図 2 には示していないが、商品代金が小売店の有する口座へ振り込まれることを契機として、小売店は自己の有する商品格納庫に利用者が購入した商品を格納する。そして、購入した商品が格納された格納庫は、前記決済機関側情報端末が作成した暗証番号を入力しないと解錠されないように構成されている。

【0 0 4 3】

次いで、暗証番号を受信した利用者は、商品格納庫に暗証番号を入力することにより（ステップ A 9）、該商品格納庫を解錠し、購入商品を受け取る。

なお、上記実施の形態においては、利用者が商品を予約した時点で決済が行われているが、決済は発注時点でもなくてもよい。

【0 0 4 4】

次に、本発明の商品購入方法をコンピュータに実行させるプログラムについて説明する。本発明の商品購入方法をコンピュータに実行させるプログラムとは、コンピュータの動作を制御し、以上に説明した本発明の商品購入方法を実施するためのプログラムであり、プログラム制御されたコンピュータがプログラムにより指令され、以上に説明した本発明の商品購入方法を実施するためのプログラムである。

【0 0 4 5】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明の無人小売店システムは、商品を購入する購入者が、購入した商品を無人倉庫において受け取ることのできるシステムである。

また、本発明の商品購入方法は、商品を購入する購入者が、購入した商品を無人倉庫において受け取ることのできる方法である。

また、本発明の商品購入方法をコンピュータに実行させるプログラムは、本発明の商品購入方法をコンピュータに実行させることのできるものである。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の無人小売店システムの一実施の形態の構成を示す図である。

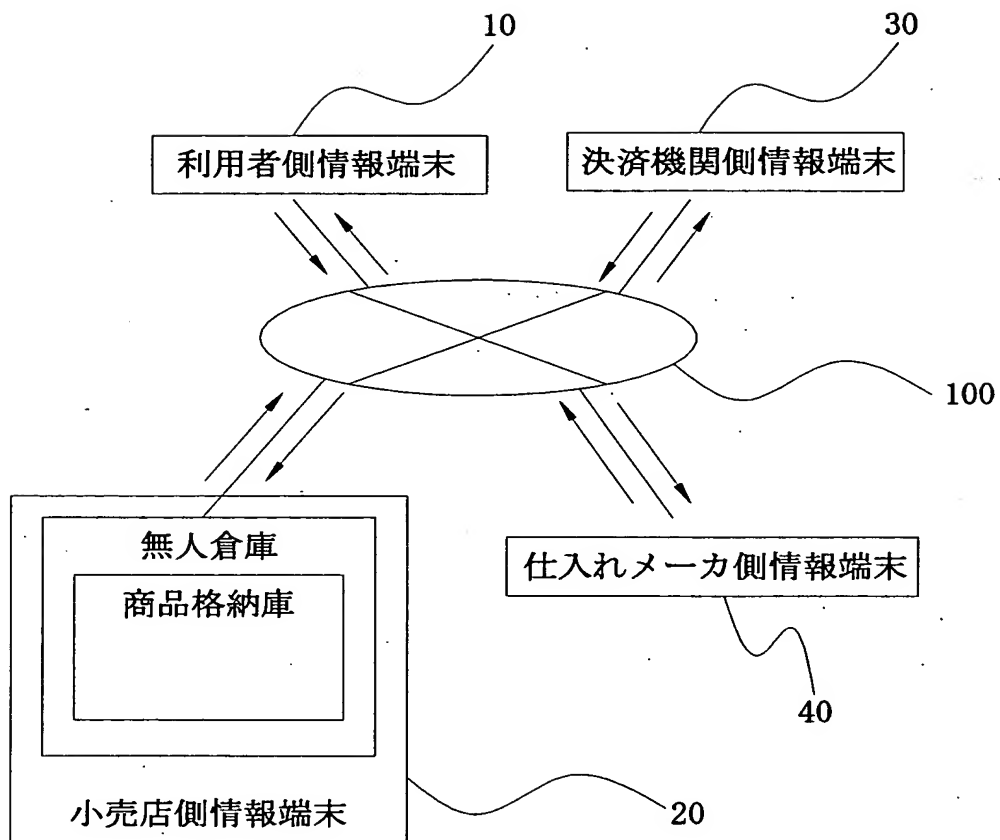
【図 2】 本発明の商品購入方法の一実施の形態のステップを示す図である。

【符号の説明】

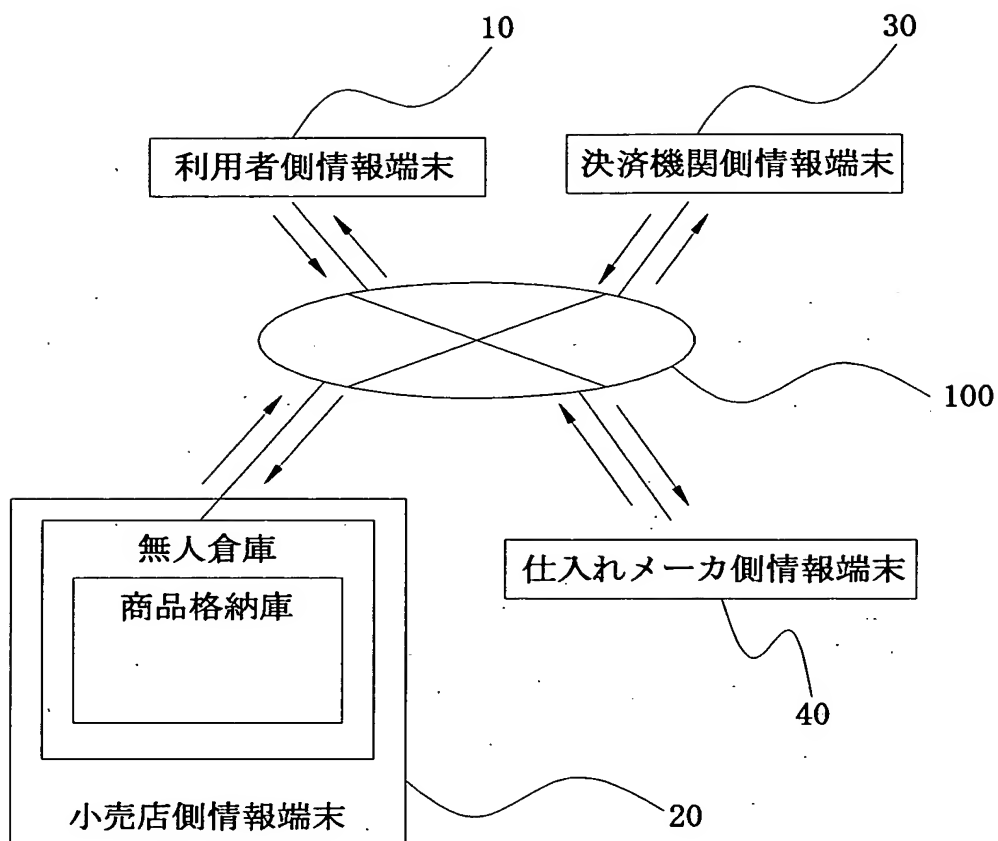
- 1 0 利用者側情報端末
- 2 0 小売店側情報端末
- 3 0 決済機関側情報端末
- 4 0 仕入れメーカー側情報端末
- 1 0 0 ネットワーク

【書類名】 図面

【図 1】



【図 2】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 商品を購入する購入者が、購入した商品を無人倉庫において受け取ることのできる無人小売店システムを提供すること。

【解決手段】 本発明の無人小売店システムは、利用者側情報端末と、小売店側情報端末と、決済機関側情報端末とがネットワークを介して接続されてなり、利用者側情報端末が、購入する商品を選択し選択した商品の情報を小売店側情報端末に送信する手段、及び決済口座情報を小売店側情報端末に送信する手段を有し、小売店側情報端末が、商品格納庫を有しており、商品の購入代金の引き落とし依頼情報及び小売店の有する口座への購入代金の振込依頼情報を決済機関側情報端末に送信する手段を有し、決済機関側情報端末が、購入商品が格納された商品格納庫の鍵を解錠するための暗証番号を作成する手段、及び該暗証番号を利用者側端末及び小売店側情報端末に送信する手段を有することを特徴とする。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000004237]

1. 変更年月日	1990年 8月29日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都港区芝五丁目7番1号
氏 名	日本電気株式会社